

1 計画策定の趣旨

▶ 計画の背景

浜田市では、国保被保険者の「健康寿命の延伸」「医療費の適正化」を図るため、「浜田市国民健康保険データヘルス計画」（平成 27～29 年度）及び「浜田市特定健康診査等実施計画」（平成 25～29 年度）を策定し、被保険者の健康保持増進に取り組んできました。

このたび、両計画の計画期間が満了になることから、新たな計画を策定します。

策定にあたっては「第2期データヘルス計画」は「第3期特定健康診査等実施計画」と一体的に策定します。

▶ 計画の期間

平成 30(2018)年度～平成 35(2023)年度（6 か年）

2 本市国保の特性

▶ 浜田市の特性

- 平均寿命(平成 25 年を中間年とした 5 年の平均) 男性 80.44 歳、女性 86.46 歳
男女とも延伸しています。
- 65 歳の平均自立期間(平成 25 年を中間年とした 5 年の平均) 男性 16.77 年、女性 19.74 年
男女とも県平均（男性 17.46 年、女性 20.92 年）より短く、特に女性が悪化傾向にあります。
- 要介護認定率(平成 28 年度) 23.9%
要支援・要介護認定者数は、年々増加傾向にあり、県内でも認定率が高くなっています。
特に要介護Ⅱの認定者の割合が高くなっています。

▶ 浜田市国保の特性

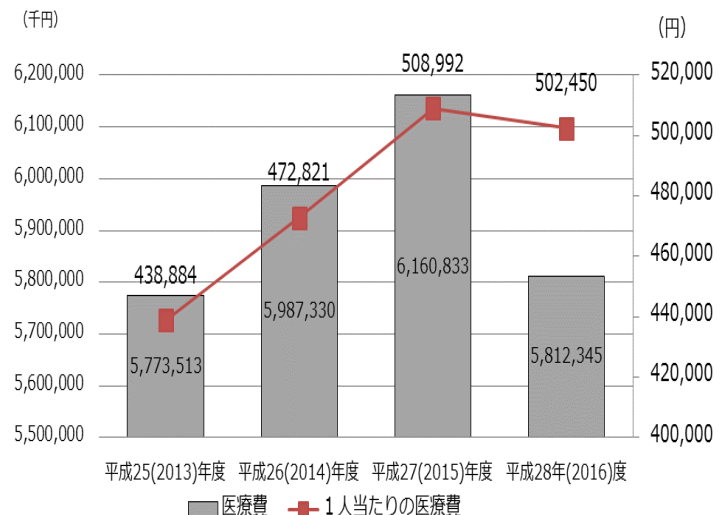
- 被保険者数 11,385 人、加入率 20.5%(平成 28 年度)
被保険者数は、年々減少傾向にあります。平成 25 年度 13,027 人→平成 28 年度 11,385 人
65 歳以上が全体の約 56.4%(6,420 人)を占めています。

3 分析結果から見える本市の健康課題

▶ 医療費の状況（平成 28 年度）

- 1 人あたりの医療費
被保険者数は減少していますが、1 人あたりの医療費は増加しています（図表 1）。県内市町村と比較すると、4 番目に高い状況です。
- 浜田市における肝炎医療費
医療費を押し上げた肝炎治療費は、特に三隅自治区での重点施策として取り組んできました。
C 型ウイルス性肝炎患者にインターフェロン治療に対する医療費給付事業を実施し、多くの人が治療につながりウイルス消失をすることができました。
- 医療費に占める上位 20 疾患
疾病大分類別では、循環器系の疾患、がんに次いで精神に関する医療費が高い割合を占めています。疾病中分類別では、入院では統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、入院外では高血圧性疾患の医療費が最も高くなっています。

図表 1 1 人あたりの医療費の推移



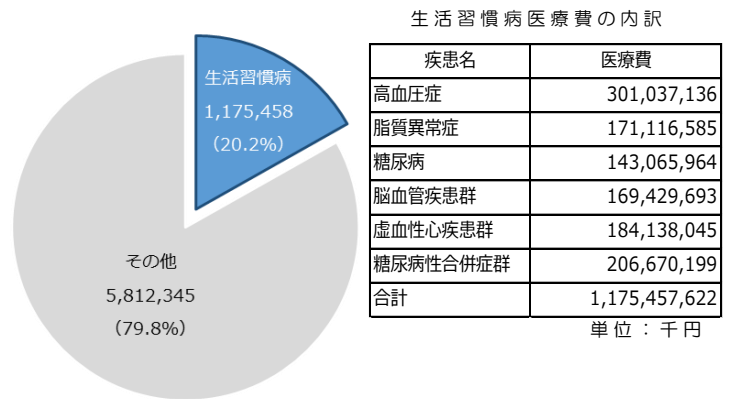
○生活習慣病の現状

生活習慣病の医療費は、浜田市国保の総医療費約 58 億円のうち 20.2%を占めています。年齢が上がるにつれ、生活習慣病罹患者は増加し、50 代半ばでは 2 人に 1 人が生活習慣病に罹っています。

○人工透析者の状況

平成 28 年度を含む過去 5 年間に人工透析治療を受けた人は 59 人です。人工透析になると 1 人あたり約 510 万円の医療費が発生しています。

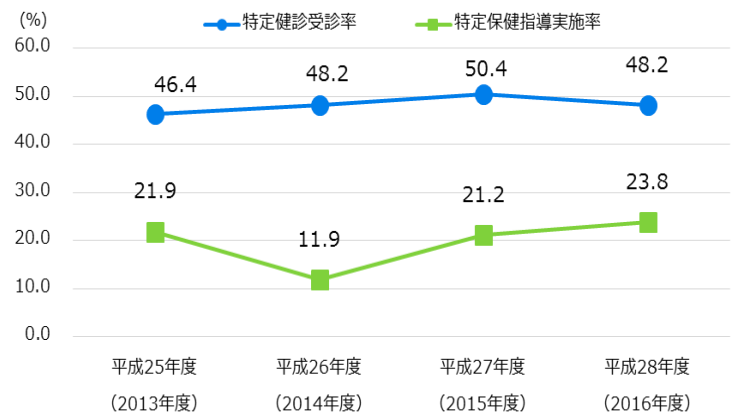
図表 2 医療費に占める生活習慣病の割合



▶特定健康診査の状況（平成 28 年度）

- 受診率は 48.2%で、平成 25 年度から 8 市の中で首位を維持しています。近年、受診率は 40%台後半から 50%にとどまり、目標（60.0%）を達成していません。
- 40 代、50 代前半の受診率が低く、特に女性よりも男性の方が受診に繋がりにくい傾向にあります。
- 男性の約 3 割がメタボリックシンドローム該当しています。また、男女とも糖尿病になりやすいリスクを抱えている人が多いです。

図表 3 特定健診実施率及び特定保健指導実施率の推移



▶特定保健指導の状況

- 平成 28 年度の実施率は 23.8%で、対前年度比 2.6 ポイント増加しています。8 市の中では 4 位です。平成 28 年度の目標（60.0%）を大きく下回っています。

4 第 2 期データヘルス計画

▶目的と目標

目的	○被保険者全員が健康に対する意識を持ち、特定健診を受診、特定保健指導を利用している。	
	○適正な医療受診や生活習慣を改善する人が増え、高血圧症、糖尿病の発症や悪化する人が減少している。	
目標	○65 歳の平均自立期間の延伸と生活の質の維持向上	
	○医療費適正化	
重要課題	<ul style="list-style-type: none"> ■長期目標（6 年） ・ 65 歳の平均自立期間の延伸 ・ 特定保健指導対象者の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ■中期目標（3 年） ・ 新規透析患者数の減少 ・ 特定健診受診率 60%
	<ul style="list-style-type: none"> ■短期的目標（1 年） ・ 特定健診受診率、新規受診者の増加 ・ 有所見者の減少（前年度比 1%減） ・ 重症化予防対象者のうち、医療受診等適正管理につながった人の割合を 80%以上とする。 	
重要課題	①生活習慣を改善し、生活習慣病の発症を予防する。 【現状】 生活習慣病のリスクが高くなっている	②適正に医療につなげ、重症化を予防する。 【現状】 高血圧、糖尿病が重症化し、脳卒中や人工透析を引き起こし、高額な医療費の要因となっている。

▶ 保健事業計画

対策名	事業名	主な取り組み	目標
生活習慣病発病予防対策	特定健康診査受診率向上事業	○ 健診費用の無料化など受診しやすい環境を整備します。 ○ 未受診者へ受診勧奨通知や電話訪問などにより特定健診の受診を促します。	○ 特定健診受診率：60% ○ 勧奨者対象者の受診率：30%
	特定保健指導利用率向上事業	○ 特定保健指導利用料無料化や行動計画の実績評価を3か月経過後にすることにより利用しやすい環境を整備します。 ○ 利用券の送付や電話により特定保健指導の利用を促します。	○ 特定保健指導実施率：60% ○ 利用者の増加 ○ 生活習慣の改善者増加
	一日外来人間ドック・脳ドック助成事業	○ 検診の要する費用の一部を助成します。	○ 利用者数 人間ドック：200人 脳ドック：300人
生活習慣病重症化予防対策	生活習慣病重症化予防事業	○ 治療優先度が高いと見込まれる者のうち、医療機関未受診者に個別通知や電話訪問などにより受診勧奨、保健指導を行います。 ○ レセプト、健診結果の分析を外部委託し、対象者へ保健指導を実施することにより、糖尿病の重症化による人工透析への移行を防止します。	○ 医療受診等適正管理につながった人の割合：80%以上 ○ 新規人工透析患者数の減少
医療費適正化対策	ジェネリック医薬品（後発薬）普及促進事業	○ ジェネリック差額通知を年4回送付します。	普及率：80%
	重複・頻回受診、多剤服用者適正受診行動等事業	○ 重複受診や頻回受診者、多剤服用者を抽出し、対象者へ電話訪問により必要な助言や保健指導を実施します。	重複受診、頻回受診者、多剤服用者の減少
	医療費通知事業	○ 被保険者全世帯に年4回医療費通知を送付する。	送付回数
その他の保健事業対策	歯周病予防対策	○ 歯科医療機関へ委託し、歯周予防検診を実施します。	○ 定期的メンテナンス者の増加 ○ 喪失歯の減少
	働き盛り世代のがん検診等受診者を増やす取組	○ 特定健診受診券送付時や未受診者受診勧奨時に広報チラシを同封し、がん検診を周知します。	○ 受診人数の増加
	メンタル疾患への対応	○ メンタルヘルス（心の健康）問題を抱える人への情報提供として、適切な窓口の周知や市関係部署、関連機関との連携を推進します。	実施
	健康課題に向けた関係部署・関連機関との連携（地域包括ケアの推進）	○ 地域ケア会議など、暮らし全般を支えるための直面する課題解決に向けた関係機関の協議の場に、国保部門及び保健衛生部門も参加します。	実施

5 第3期特定健康診査等実施計画

▶ 目標

	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)	平成35年度 (2023年度)
特定健康診査	50%	52%	54%	56%	58%	60%
特定保健指導	35%	40%	45%	50%	55%	60%

※ 特定健康診査

島根県内の国保保険者の受診率、本市の過去の受診率をもとに初年度の受診率目標を設定し、以降は毎年2ポイントずつの上昇を目指します。

（平成28年度浜田市特定健康診査受診率（法定報告値）48.2%／県合計受診率42.9%）

※ 特定保健指導

島根県内の国保保険者の実施率、本市の過去の実施率をもとに初年度の実施率目標を設定し、以降は第2期特定健診等実施計画期間中の実施率の状況を好転させ、着実な事業を実施することにより、毎年5ポイントずつの上昇を目指します。

（平成28年度浜田市特定保健指導実施率（法定報告値）23.8%／県合計実施率24.3%）